

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



第80回日本循環器学会学術集会 (JCS2016) 開催前プレスカンファレンス

日 時:平成28年3月10日(木) 14:00~15:00

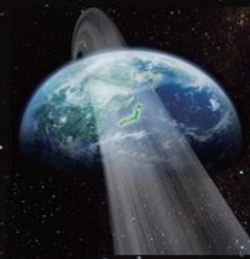
場 所:東北大学 星陵会館 2階 大会議室

東北大学大学院医学系研究科循環器内科学

下川宏明(会長)、高橋 潤(事務局長)

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



開催概要

■会長： 下川 宏明（東北大学 循環器内科学 教授）

■会期： 2016年 3月18日（金）～ 20日（日）の3日間

■テーマ：

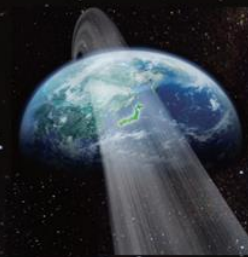
日循80年 日本の循環器病学の過去・現在・未来
—東日本大震災復興5周年—

■会場： 仙台国際センター（会議棟、展示棟）
東北大学百周年記念会館川内萩ホール
仙台市民会館

■目標参加者数： 約20,000名（有料参加者・招待者・関係者含む）

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-

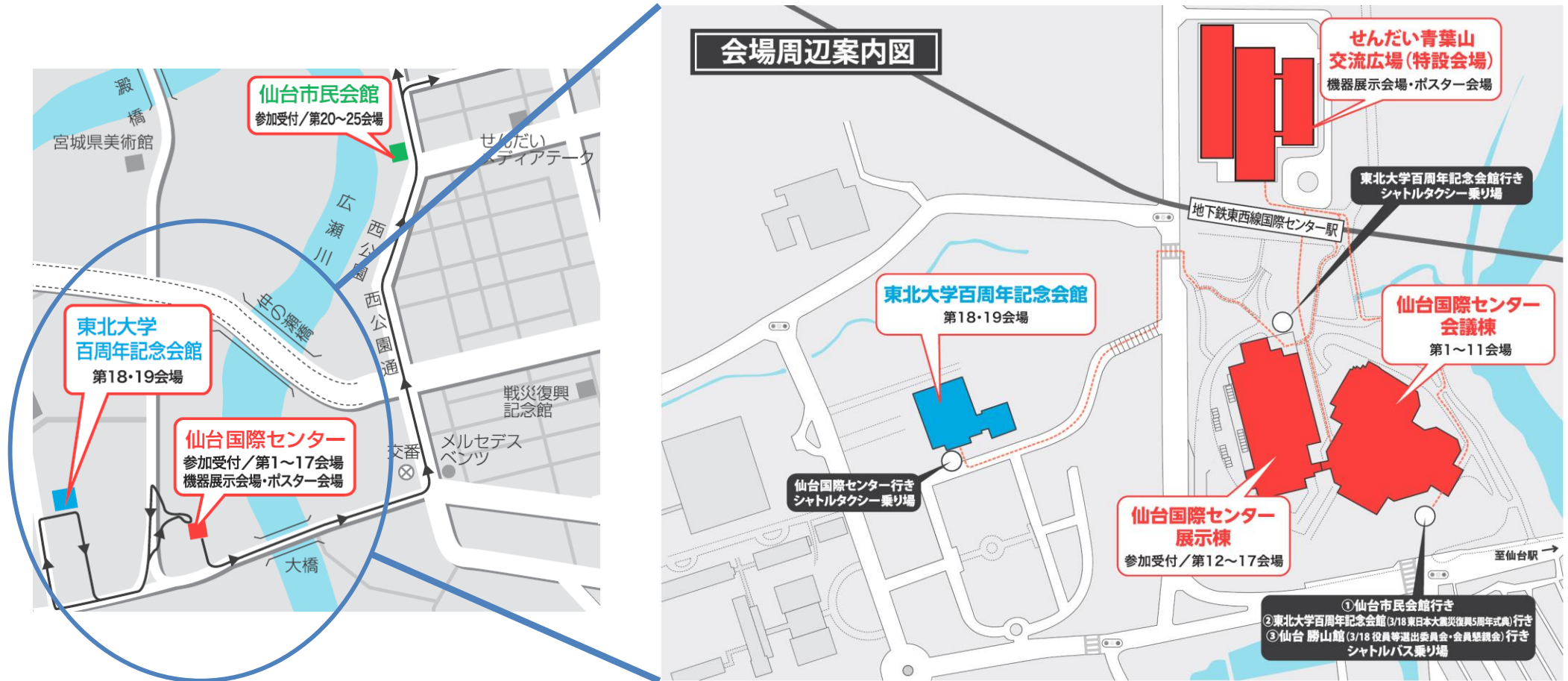
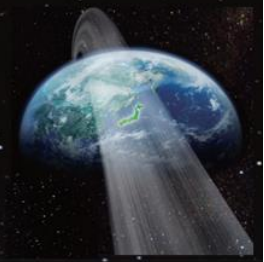


会場案内図 ①



第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



シャトルタクシー 随時	<p>仙台国際センター 展示棟 ↔ 約5分 ↔ 東北大学百周年記念会館</p> <p>【運行時間】 3/18(金) 16:00~18:30 / 3/19(土) 8:00~19:30 / 3/20(日) 8:00~18:30</p>
シャトルバス 約10分間隔	<p>仙台国際センター 会議棟 ↔ 往路 約10分 復路 約15分 ↔ 仙台市民会館</p> <p>【運行時間】 3/18(金) 8:00~18:30 / 3/19(土) 8:00~19:30 / 3/20(日) 8:00~18:30</p>

会場案内図 ②

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-

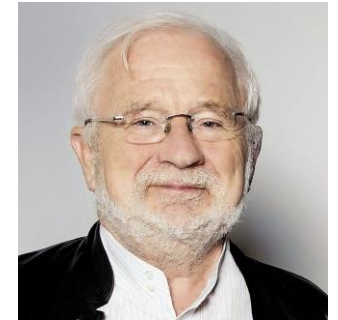


プログラム・トピックスの紹介①

1. 美甘 (Mikamo) レクチャー 3月19日(土) 11:55~12:40 第1会場

Paul M. Vanhoutte (University of Hong Kong China)

Regenerate to be old



2. 真下 (Mashimo) 記念講演 3月19日(土) 11:10~11:55 第1会場

山本 雅之 (東北大学 医化学 教授/東北メディカル・メガバンク機構長)

The Keap1-Nrf2 System Regulating Oxidative Stress Response



3. 会長講演 3月19日(土) 15:10~15:55 第1会場

下川 宏明 (東北大学 循環器内科学 教授)

わが国の循環器病学の過去・現在・未来
—東日本大震災を経験して—



第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



プログラム・トピックスの紹介②

海外招待者 17国 66名

1) アメリカ	36名	2) ドイツ	4名
3) イタリア	4名	4) オーストラリア	3名
5) フランス	3名	6) 中国	1名

■ 特別講演 (18 セッション)

演者リスト

1. Amir Lerman (Mayo Clinic, USA)
2. Barry Greenberg (University of California, San Diego, USA)
3. Valentin Fuster (Mount Sinai Hospital, USA)
4. Mark A. Creager (Geisel School of Medicine at Dartmouth, USA)
5. Fausto Pinto (University of Lisbon, Portugal)
6. Peter Libby (Brigham and Women's Hospital, USA)
7. Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)
8. Dominick J. Angiolillo (University of Florida-Jacksonville, USA)
9. Alan Daugherty (University of Kentucky, USA)
10. Joseph Loscalzo (Brigham and Women's Hospital / Harvard Medical School, USA)
11. Byung Hee Oh (Seoul National University College of Medicine, Korea)
12. Peter Ganz (University of California, San Francisco, USA)
13. Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)
14. Scott David Solomon (Brigham and Women's Hospital, USA)
15. Frank W. Sellke (Brown Med School/Rhode Island Hospital, USA)
16. Junichi Sadoshima (Rutgers, New Jersey Medical School, USA)
17. Donald D. Heistad (University of Iowa Carver College of Medicine, USA)
18. C. Noel Bairey Merz (Cedars-Sinai Heart Institute, USA)

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



プログラム・トピックスの紹介③

- プレナリーセッション (11 セッション)
- シンポジウム (28 セッション)
- 会長特別企画 (18 セッション)
- ジョイントシンポジウム (7 セッション)
- ラウンドテーブルディスカッション (11 セッション)
- トピック (8 セッション)
- コントロバーシー (6 セッション)
- ミート・ザ・エキスパート (10 セッション)
- モーニングレクチャー (29 セッション)

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



プログラム・トピックスの紹介④

■ 会長特別企画 (18 セッション)

- (1) 日本循環器学会80年の歩み-先達からのメッセージ-
- (2) 日本が誇る循環器研究 I 「久山町研究」「冠動脈攣縮」「Na利尿ペプチド」
- (3) 日本が誇る循環器研究 II 「川崎病」「高安病(大動脈炎症候群)」「たこつぼ心筋症」
- (4) Editors-in-Chief of the Top Medical Journals
- (5) 大規模災害と心血管病
- (6) 我が国の医療機器開発の現状と課題
- (7) 循環器疾患における新規治療標的
- (8) 心不全パンデミックへの対応
- (9) 30th Anniversary of NO Research: What Have We Learned and Where to Go
- (10) 循環器疾患に対する低侵襲性治療の開発
- (11) 日米の医学教育を考える
- (12) Importance of Coronary Microvascular Dysfunction in Cardiovascular Medicine
- (13) The Year in Cardiology-the EHJ Perspective
- (14) IT が拓く近未来の循環器医療
- (15) 重要性を増す Cardio-Oncology
- (16)~(18) 3日でマスターする医学統計入門 ①、②、③

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



プログラム・トピックスの紹介⑤

■ Late Breaking Clinical Trials/Cohort Studies

3月18日(金)

- I 虚血性心疾患
- II 不整脈・高血圧

3月19日(土)

- III インターベンション
- IV 心不全

3月20日(日)

- V 救急・心不全
- VI 代謝・検査・肺高血圧

発表前日に、**プレスカンファレンス**開催

日程: 3月17日(木) 18:00~19:00

3月18日(金) 18:10~19:10

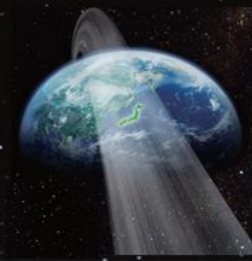
3月19日(土) 19:00~20:00

場所: 第17会場

(仙台国際センター展示棟 会議室4)

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



東日本大震災復興5周年企画展示 「東日本大震災と医療 -復興・明日への歩み-」

主催： 第80回日本循環器学会学術集会
 共催： 国立大学法人 東北大学
 後援： 宮城県、仙台市、宮城県医師会、岩手県医師会、福島県医師会
 会場： 東北大学百周年記念会館 1階、2階 ホワイエ
 日程： 2016年3月18日(金)13時～20日(日)学術集会プログラム終了時まで
 2016年3月20日(日)14時以降は一般市民の皆様も入場可能になります。

東日本大震災と医師会活動 宮城県医師会

行政機能破壊
 宮城県庁内災害対策本部
 南三陸町ペイサイドアリーナ
 南三陸町ペイサイドアリーナ
 医薬品搬入①
 医薬品搬入②
 医薬品搬入③
 JMA T 兵庫医療事務所
 石巻市内巡回(アセスメント)
 避難所での診察
 朝のミーティング
 医薬品の確保

また、東日本大震災では数多く多くの命が失われました。そうした中、我々医師が亡くなられた方に対して差し上げられる最後の行爲である死体検案業務にも協力してまいりましたことをお伝えしておきます。

東日本大震災における福島県医師会の取り組み 福島県医師会

I. 震災直後の状況

3月11日、午後3時30分
 福島県医師会災害対策本部を設置し、情報収集にあたるも停電、電話不通、FAX不通、Eメール不通、救急車により活動困難

3月12日、午後3時36分
 ・福島第一原子力発電所1号機5号機内及び第二原発
 10キロ以内の住民に対し避難指示が下される(3月12日)

II. 各病院、医師会、行政の対応

・各都府県医師会等に先達報告の伝達による連携
 ・医療機関の連携により被災医療機関からの患者者の移送
 ・福島県災害対策本部より福島県医師会長へ
 医師会派遣要請が有り医師派遣
 ・福島県医師会災害対策ネットワークに基づき対応
 (プロトコール参照)
 ・JMA Tによる支援活動

III. 復興からの発展、相互連携

・福島県地域再生計画、迅速に地方医療復興計画策定に参画し、医療体制の構築を進めている
 ・県立病院調査事業、特に学校給食費徴収改革推進事業に連携、協力している

IV. 今後の展望

- 県民健康調査の充実と継続
- ふくしま国際医療科学センターとの連携
- 日本一の健康長寿県に向けての取り組み

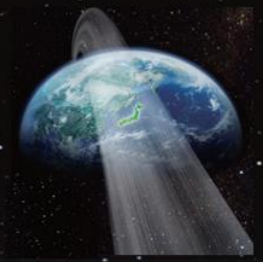
V. 震災時の被災地視察の様子

(1) 福島県医師会内院外-避難所の状況 [H23.3.27] (2) いわき市医師会内院外-避難所の状況 [H23.4.17] (3) 東京電力福島第一原子力発電所状況 [H23.11.2]

(展示予定パネルより)

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



■ 東日本大震災復興5周年企画展示 「東日本大震災と医療 -復興・明日への歩み-」 式典のご案内

日時: 2016年3月18日(金) 12:30-13:00

(入場開始予定: 12:00~ 12時前には会場に入れませんので、ご注意ください)

会場: 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール(第18会場)

参加費: 無料

式次第

開会宣言: 司会 東北大学循環器内科学 准教授

主催者挨拶: 国立大学法人 東北大学 総長

主催者挨拶: 第80回日本循環器学会学術集会 会長

挨拶: 日本循環器学会 代表理事

挨拶: 日本循環器学会 前代表理事

出展者代表挨拶: 宮城県医師会 会長

プレゼンテーション1: 石巻市立病院 副院長

プレゼンテーション2: 滝田医院 院長

閉会宣言: 司会 東北大学循環器内科学 准教授

伊藤健太

里見 進

下川 宏明

小川 久雄

永井良三

嘉数研二

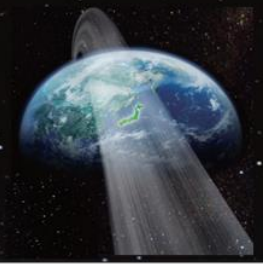
赤井健次郎

滝田 有

伊藤健太

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



■ 日循80周年企画展示

「日本の循環器病学の進歩」

日本で発見され、世界に向けて発信された研究テーマについてのパネル展示

テーマ: 「たこつぼ心筋症」、「ナトリウム利尿ペプチド」、「川崎病」、「久山町研究」、「高安病」、「冠攣縮」

展示場所: 仙台国際センター 2階ホワイエ

1. 高安病の発見 (高安右人先生)

1908年(明治41年)に金沢大学眼科教授の高安右人は福岡における日本眼科学会総会において、「奇異なる網膜中心血管の変化の一例」を報告した。本報告が世界に通用する高安病の発端であった。

高安右人先生プロフィール
 1860年 佐賀県生まれ
 明治20年 東京帝国医科大学卒業
 明治21年 第四高等学校医学部眼科医長
 明治27年 第四高等学校医学部附属病院長
 明治32-34年 ドイツへ留学
 明治34年 金沢医学専門学校長
 大正12-13年 金沢医科大学(旧制)初代学長
 昭和13年 78歳で逝去

十全會雜誌 (第五拾號) 原稿及書籍

(展示予定パネルより)

4. 冠攣縮に関する最新の知見 (東北大学)

我々は近年、冠攣縮のバイオマーカーの開発や冠動脈イメージングによる冠攣縮部位の観察を行い、先駆的知見を次々に報告している。また、冠動脈インターベンション治療で問題視されている薬剤溶出性ステント(DES)留置後の冠動脈過収縮に関する研究を行い、世界に先駆けてその機序を解明してきた。

【冠攣縮性狭心症のバイオマーカーとイメージング研究(ヒト)】 【DES留置後冠動脈過収縮に関する研究(ブタ・ヒト)】

好中球Rho-kinase活性は冠攣縮性狭心症の診断に有用なマーカーであることと日内変動を示すことを報告した。好中球Rho-kinase活性を測定し、東日本大震災による精神的ストレスが冠攣縮性狭心症の病勢に影響したことを明らかにした。

健康なブタ冠動脈にDESを留置するとステント近傍に冠動脈過収縮が生じる。冠攣縮と共通して、Rho-kinaseの活性化を分子基盤にもつことを明らかにし、実臨床において確認した。

高解像度の光干渉断層イメージングであるOFDIを用いて、冠攣縮性狭心症患者の冠動脈外膜に血管壁栄養血管であるVasa vasorumが増生していることを明らかにした。

DES留置後の冠動脈過収縮に対する、長時間作用型L型カルシウム拮抗薬の予防効果を確認した。

(展示予定パネルより)

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



■ 広瀬川Fun Run/Walk (仙台国際センター周辺)

日時 2016年3月20日(日)AM6:00~AM8:00
AM6:00~AM6:30 集合、
AM6:30 からウォーミングアップ

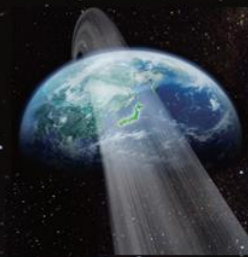
場所・コース 仙台国際センター・広瀬川
周辺(1周 2.2km)

集合場所 せんだい青葉山交流広場



第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



■ 市民公開講座

第80回 日本循環器学会学術集会

市民
公開講座

健康長寿のための心臓病の知識

— 特別講演 凜として老いる —

写真提供:青葉山コンソーシアム



会長 下川宏明

帯津良一

Program

●日本心臓財団よりご挨拶

白土 邦男 (東北大学 名誉教授/日本心臓財団 評議員)

●開会挨拶

下川 宏明

(第80回日本循環器学会学術集会 会長/東北大学循環器内科学 教授)

【第1部 講演】

座長:伊藤 宏 (秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学 教授)

講演① 虚血性心臓病を知ろう

講師:竹石 恭知 (福島県立医科大学循環器・血液内科学 教授)

講演② 心不全を知ろう

講師:久保田 功 (山形大学医学部第一内科 教授)

講演③ 不整脈を知ろう

講師:福田 浩二 (東北大学循環器内科学 講師)

【第2部 特別講演】

座長:下川 宏明

(第80回日本循環器学会学術集会 会長/東北大学循環器内科学 教授)

特別講演 凜として老いる

帯津 良一 (医療法人直心会 帯津三敬病院)

【第3部 質問コーナー <事前質問にお答えします>】

司会:下川 宏明、伊藤 宏

パネリスト:久保田 功、福田 浩二、帯津 良一

日時 2016年3月5日(土) 会場 仙台国際センター 大ホール

開場13時00分(予定)

開演13時30分 閉会16時00分

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

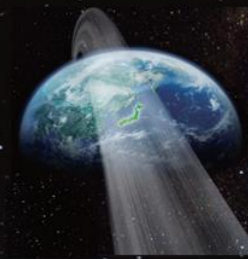
アクセス 地下鉄東西線「国際センター」駅下車徒歩1分

1,000名様 無料ご招待

主催:第80回日本循環器学会学術集会、公益財団法人日本心臓財団、朝日新聞社
後援:宮城県、公益社団法人日本医師会、公益社団法人宮城県医師会
協賛:第一三共株式会社

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



第14回 禁煙推進・心肺蘇生法 合同市民公開講座

JCS2016 第80回 日本循環器学会学術集会 会長 下川 宏明 東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学教授

第14回 禁煙推進・心肺蘇生法 合同市民公開講座

命の大切さを考える

禁煙推進と心肺蘇生法
(コールアンドブッシュ)

日時 2016年3月20日(日)13:00~16:40

会場 フォレスト仙台 2Fフォレストホール(仙台市青葉区柏木1-2-45)

主催:一般社団法人 日本循環器学会 禁煙推進委員会/循環器救急医療委員会
後援:宮城県、仙台市、宮城県医師会、仙台市医師会

参加費 無料
事前申込みが必要です

禁煙推進公開講座 13:05~

- 講演1 「タバコの煙が引き起こす社会と健康への害」
朔 啓二郎(福岡大学)
- 講演2 「楽しく禁煙はじめましょう」
飯田 真美(岐阜県総合医療センター)
- 講演3 「環境が大事!クスリも大事 若い世代と女性の禁煙」
高橋 裕子(奈良女子大学)
- 禁煙体験 森山 暎子(一般社団法人10分ランチフィットネス協会代表理事・
衛スタディオ・パラディン代表)
すわん君・かおりちゃん・しおりちゃん

禁煙促進公開講座の参加者に「すわん君ハンカチ」
心肺蘇生法講習の参加者には講習で使用する「心肺蘇生実習キット」をプレゼント!

- 特別講演 「世界一の美女を育てた栄養コンサルタントが語る いきいき・健やかに・美しく」
エリカ・アンギャル(栄養コンサルタント)
- 特別演目 テツandトモ(ニチエンプロダクション所属)



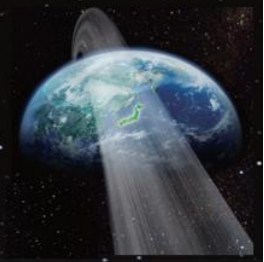
エリカ・アンギャル氏



テツandトモ

第80回 日本循環器学会学術集会

日循80年 日本循環器病学の過去・現在・未来 -東日本大震災復興5周年-



■ 報道関係の方へのご案内

プレス登録について

第80回日本循環器学会学術集会の取材を希望される報道関係の方は、第80回学術集会ホームページの「取材申込」ボタンよりお申込みください。

当日は、仙台国際センター展示棟および仙台市民会館1階に設置する「**総合案内**」にて**プレス証をお渡しします**ので、自社腕章とともに必ず常時着用して取材を行ってください。プレス証の着用がなければ、取材会場等への入場をお断りする場合がありますのでご注意ください。

プレスルーム

場 所： せんだい青葉山交流広場特設会場 内

開設時間： 9:00～18:00

設置設備： コピー機、WiFi

※PC本体の貸し出しはいたしませんので、ご自身にてご準備ください。